

令和3年度 保育所による自己評価

認定こども園第二薬師寺幼稚園

実施期間について・・・令和4年3月5日～11日

評価について・・・A十分図られている B どちらともいえない C 図られていない

I 保育の基本的理念と実践

観点	評価項目	A	B	C	改善点
子どもの理解	1 子ども一人ひとりの人権や人格を尊重し保育にあたっている。	94%	6%	0%	低学年から人権を意識した保育を行っていききたい。
	2 子どもの発達を理解し、それぞれの個性や生活の状況に配慮した保育を行っている。	68%	32%	0%	
ねらいや内容	3 保育所の保育理念や子どもの発達過程を踏まえた保育課程を編成している。	84%	16%	0%	図られていないというアンケートは少ないが、教育課程のねらいや内容の理解が深まるようにしていきたい。
	4 子どもに遊びや自然とのふれあいなど、多彩で豊かな体験が広がるような保育を提供している。	77%	23%	0%	
	5 子どもが相互に関わったり協力し合ったりして、より良い人間関係が作れるようにしてい	77%	23%	0%	
保育の環境	6 子どもが命の大切さや尊さを身近に感じたり理解できる環境づくりを行っている。	65%	35%	0%	安全面が配慮され対話しやすい保育環境が作られている。意欲的に活動できる環境とは何かを考え、環境づくりを工夫していきたい。
	7 子どもたちが安全で情緒の安定した生活ができる環境づくりを行っている。	77%	23%	0%	
	8 子ども同士や保育士との対話が促される環境づくりを行っている。	84%	16%	0%	
	9 子どもが自分らしく意欲的に活動できる環境づくりを行っている。	68%	29%	3%	
関わり	10 保育指針に示す『保育に関わる全般的な配慮事項』を踏まえた保育を提供している。	81%	19%	0%	AB合わせて100%であるが、図られていないという意見もあったので、保育指針も踏まえた職員の理解が深まるようそして関わりができるようにしていきたい。
	11 乳児に対し、保育指針の『乳児保育に関わる配慮事項』を踏まえた保育を提供している。	81%	19%	0%	
	12 1～2歳児に対し、保育指針の『3歳未満児の保育に関わる配慮事項』を踏まえた保育を提供している。	84%	16%	0%	
	13 3～5歳児に対し、保育指針の『3歳以上児の保育に関わる配慮事項』を踏まえた保育を提供している。	84%	16%	0%	
	14 特別な支援や配慮を要する子どもに対し、個別の指導計画を作成しねらいをもって保育を提供している。	55%	45%	0%	
保育課程	15 保育課程に基づき、月案・週案・日案などの指導計画を作成している。	90%	10%	0%	月案・週案・日案などの指導計画を作成しているが、その理解には個人差があることがわかった。全職員が保育課程に基づいて指導計画を立てられるようにしていきたい。
	16 保護者アンケートや職員による反省を生かして、指導計画の見直しを行っている。	61%	39%	0%	
	17 保育に関する記録を整備し、子どもの育ちや進級への引継ぎに有効に活用している。	84%	16%	0%	

	18	子どもの発達や季節に合った行事が適正な時期に実施されている。	94%	6%	0%	い。
--	----	--------------------------------	-----	----	----	----

II 家庭及び地域社会との連携や子育て支援

観点	評価項目	A	B	C	改善点	
子育て支援	19	定期面談など家庭の実態や保護者のニーズを理解するための取組を行っている。	77%	23%	0%	子育て支援の面では、A・B合わせて100%の回答となっており、おおむね満足といえる。今後、虐待に関する取り組みについて、既存のマニュアルを周知徹底し理解を深めていきたい。
	20	保護者に対して、クラスだよりや連絡帳を使って保育の内容や子どもの様子などを伝えている。	94%	6%	0%	
	21	虐待などの疑いがある子どもの早期発見への取組、発見時の対応が整備されている。	87%	13%	0%	
	22	個人情報など園が知りえた情報は、プライバシーに配慮して取り扱っている。	97%	3%	0%	
地域・連携交流	23	保育所の施設や園庭を開放するなどして、地域の保護者等に対する子育て支援を推進している。	100%	0%	0%	地域・連携交流の面でも、A・B合わせて100%の回答となっており、おおむね満足といえる。コロナ禍が落ち着いたら小学校と連携に力を入れていきたい。
	24	子どもの発達を理解し、家庭や必要な医療機関と連携しながら、子どもの育ちを支援している。	97%	3%	0%	
	25	子どもの生活や発達の連続性を踏まえ、就学に向けて小学校との連携を図っている。	87%	13%	0%	

III 保育の実施運営・体制全般

観点	評価項目	A	B	C	改善点	
組織基盤	26	組織及び理念・目標・方針が明確であり、職員への共通理解を図っている。	81%	19%	0%	C評価が見られるので、改善を図ってきたい。特に、31保育所の運営に必要な～…では、全体的に評価が低い。保育所運営に必要な関係機関をまとめ、一般の教職員も把握できるような体制を作ってきたい。
	27	施設長は管理職として、保育や組織の質の向上に指導力を発揮している。	74%	26%	0%	
	28	役割や責任の範囲など職員の職務が明確である。	68%	26%	6%	
	29	職員の労働環境や意向を把握し、必要に応じて改善する仕組みを構築している。	61%	32%	6%	
	30	職員の福利厚生や健康維持のための取組を行っている。	55%	42%	3%	
	31	保育所の運営に必要な関係機関などを把握しているか。	65%	35%	0%	
	32	保育所にある各種マニュアルについて、必要に応じて検証・見直しを行っている。	84%	16%	0%	
	33	実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	90%	10%	0%	
	34	職員や保育所の自己評価を行っている。	94%	6%	0%	

社会的責任	35	保育所等の運営に必要な法令を遵守し、職員が理解できる機会を設けている。	65%	35%	0%	おおむね満足していると考えてよいと思う。しかし職員の理解に個人差もあり、理解が深まるように工夫していく。
	36	個人情報の保護に関する決まりが整備され、個人情報 は適正に管理されている。	97%	3%	0%	
	37	保育所の利用開始（保育の提供）に際し、保護者に重要事項説明書の交付及び説明を行っている。	100%	0%	0%	
	38	保護者からの相談・意見・苦情解決のための取組を行っている。	87%	13%	0%	
	39	保護者や地域社会に対して、事業計画や活動計画について知らせている。	84%	16%	0%	
健康及び安全	40	子どもたちの体調不良や怪我に対応できるだけの保健的環境が整備されている。	87%	10%	3%	おおむね満足していると考えてよいと思う。しかし、災害に備えた物品等が把握されていないので、発展計画書にも記載されているが、職員にもきちんと周知をしていく。
	41	子どもが心地よく落ち着いて過ごせるよう、清掃やアルコール消毒など衛生管理を整備している。	74%	23%	3%	
	42	健康診断や身体測定を行い、子どもの健康状態や発育及び発達状態を把握している。	97%	3%	0%	
	43	子どもが楽しみながら適切な食生活を身につけられるよう、献立や食育を工夫している。	100%	0%	0%	
	44	アレルギーや食物アレルギーを持つ子どもに対して、適切な対応を行っている。	97%	3%	0%	
	45	感染症発生時の体制や対応方法などを定め、予防するための取組を行っているか。	48%	45%	6%	
	46	感染症発生時の体制や対応方法などを定め、予防するための取組を行っているか。	55%	39%	6%	
	47	事故発生時の体制や対応方法などを定め、事故防止や安全管理のための取組を行っている。	90%	10%	0%	
	48	災害時の体制や対応方法などを定め、避難訓練など安全確保のための取組を定期的に行っている。	97%	3%	0%	
	49	災害に備え食料や物品などを備蓄し適正に管理している。	42%	58%	0%	
資質向上	50	職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保され、職員同士が主体的に学び合える環境が整っている。	71%	26%	3%	面談を通して職員の意見を聞く機会をもう少しとっていき改善していく。研修での学びを全体へ共有できるように、研修報告書の保管方法を見直す。
	51	職員の資質向上のため、体系的な研修計画を立て研修の機会確保と充実を図っている。	84%	16%	0%	
	52	保育や運営における改善点について、職員が自分の意見を発表できる場が整っている。	58%	39%	3%	
	53	研修で得た知識や資料を共有し活用する環境が整っている。	52%	48%	0%	

【次年度の重点目標・今後の中長期的目標について】

薬師寺幼稚園の中長期的目標とは、「・質の高い保育の実践。そのための職員の資質向上および育成。・分園ふたば保育園の認知度向上、園児募集。・本園と分園の連携」である。質の高い保育のための職員育成、チームワークの向上、在園児・地域保護者の幼稚園・保育への理解促進、満足度向上を重点目標として力を入れていきたい。